

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

# アジア経済概況（2008年3月）

## 【目次】

### ・中華圏・韓国

- 1．中国経済の概況・・・投資の堅調を背景に景気の拡大が続く ... p.1
- 2．中国の主要指標解説：懸念されるインフレ長期化～工業品価格も上昇基調 ... p.3
- 3．台湾経済の概況・・・輸出の堅調を背景に緩やかな景気回復続く ... p.4
- 4．韓国経済の概況・・・輸出の堅調を背景に緩やかな景気拡大続く ... p.5

### ・ASEAN・インド

- 1．タイ経済の概況・・・内外需とも堅調に推移し景気は回復傾向 ... p.6
- 2．インドネシア経済の概況・・・内需持ち直しから緩やかに景気回復 ... p.7
- 3．マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 ... p.8
- 4．ベトナム経済の概況・・・金融引締め政策により景気は減速傾向 ... p.9
- 5．インド経済の概況・・・高金利による内需鈍化で景気は減速傾向 ... p.10

- ・アジア通貨・株価動向 ... p.11



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

## 調査部

【お問い合わせ先】海外経済班

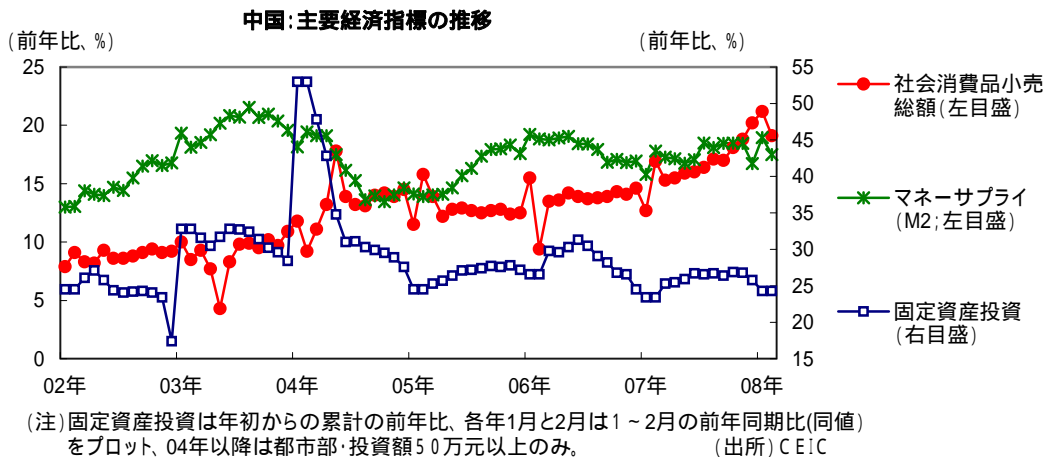
野田 (mariko.noda@murc.jp)

本レポートに掲載された意見・予測等は資料作成時点の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。

・ 中華圏・韓国

1 . 中国経済の概況

- ・ 投資の堅調を背景に景気の拡大が続いている。1～2月期の固定資産投資（都市部・50万元以上）は前年比24.3%増と2007年通年の同25.8%増から減速した。資材価格の上昇を勘案すると実質ベースではさらに鈍化している可能性がある。しかし、この時期3分の2近くの省が大雪の被害を受けたことを考えると依然として基調は強いと見られる。3月以降は大雪により中断していた投資の再開に加え大雪で被害を受けたインフラの再建投資等も加わるため、投資の伸び率は再び加速する可能性が高い。なお、1～2月期の固定投資を業種別に見ると運輸・電力等のインフラ関連の投資が前年比マイナスとなる一方で、不動産関連は前年比30.9%増と堅調を続けている。また国内外の堅調な需要を反映して、農業あるいは家具製造といった業種では前年に比べて大幅な増加が続いている。
- ・ 2月の輸出は前年比6.4%増と前月までの前年比2割増ペースから急減速した。先進国の景気減速、人民元高、輸出税の引き上げなど政府の貿易黒字削減策に加え、大雪による生産・物流の停滞、前年2月に増値税還付率の追加引下げの噂から駆け込み輸出が行なわれた、といった一時的な要因があったためと見られる。このため3月には反動増が見込まれるが、～の要因もあり基調は弱含みと見られる。なお、人民元の対ドル相場は年初来速いテンポで上昇しているが、4月10日の中国人民銀行発表の中間値（参考値）は1ドル6.9920元と初めて6元台となった。
- ・ 2月の消費者物価上昇率は食品価格の高騰から前年比8.7%に加速した。こうした中で中国人民銀行（中銀）は3月18日に預金準備率の0.5%ポイントの引き上げ（15.0%→15.5%；実施は3月25日）を決めた。また統計局は2006年と2007年の実質GDP成長率をそれぞれ0.5%ポイント上方修正した（修正後の成長率は06年11.6%、07年11.9%）。中国経済が力強い拡大を続けていたことが再確認された。



**【中国・香港の主要経済指標】**

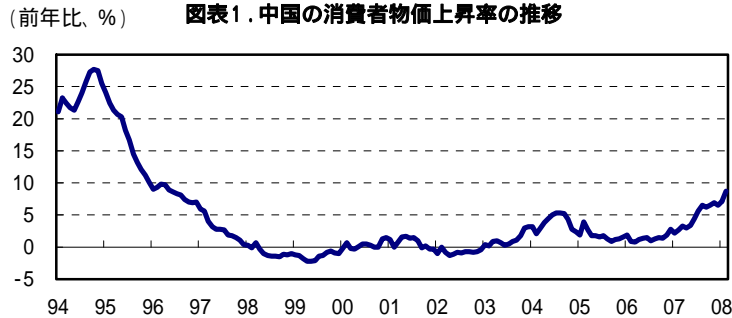
			2005年	2006年	2007年	07/2Q	07/3Q	07/4Q	08/1Q	07/12月	08/1月	08/2月	08/3月	
GDP	実質GDP成長率 (累計ベース)	前年比%	10.4	11.6	11.9	11.9	11.5	11.2						
	名目GDP成長率(累計ベース)	前年比%	15.0	15.3	17.7	15.6	16.2	17.7						
消費	社会消費品小売総額	前年比%	12.9	13.7	16.7	15.8	16.8	19.0		20.2	21.2	19.1		
	うち市	前年比%	20.6	14.3	17.2	16.3	17.2	19.5		20.5	22.2	19.3		
	うち県	前年比%	15.2	13.3	17.3	16.4	17.6	19.9		20.9	21.3	20.6		
	うち県以下	前年比%	16.3	12.3	15.0	14.1	15.2	17.4		18.8	18.0	17.7		
	自動車販売台数	前年比%	13.8	24.8	22.3	25.1	27.9	15.3	21.8	10.6	19.8	19.9	24.7	
	うち乗用車	前年比%	21.5	36.7	24.0	22.7	27.1	17.0	22.5	14.8	20.9	19.9	26.0	
	消費者自信指数	期中平均	94.2	94.7	96.5	96.8	97.0	96.5		96.9	95.6	94.3		
	消費者期待指数	期中平均	95.1	97.2	99.1	99.3	99.6	99.1		99.5	98.6	96.8		
投資	固定資産投資(都市部・50万円以上;累計ベース)	前年比%	27.2	24.5	25.8	26.7	26.4	25.8		25.8		24.3		
	うち不動産・居住用建物	前年比%	19.6	26.8	30.3	29.8	30.1	30.3		30.3		30.9		
	うち国内企業	前年比%	28.5	25.0	26.1	27.1	26.8	26.1		26.1		24.5		
	うち製造業	前年比%	38.6	29.4	34.8	34.7	35.6	34.8		34.8		35.8		
	うち鉄鋼	前年比%	27.5	2.5	12.2	9.6	13.0	12.2		12.2		30.0		
	うち輸送機械	前年比%	51.1	25.2	38.5	30.6	35.2	38.5		38.5		40.5		
	うち電気機械	前年比%	44.9	45.6	44.9	44.2	43.5	44.9		44.9		61.2		
	うち情報通信機器	前年比%	18.2	38.7	24.3	32.3	24.4	24.3		24.3		2.8		
	直接投資契約件数(累計ベース)	前年比%	0.8	5.8	8.7	5.4	6.0	8.7	25.3	8.7	13.4	23.5	25.3	
	直接投資実行額(累計ベース)	前年比%	19.4	0.3	13.8	12.2	10.9	13.8	61.3	13.8	109.8	75.2	61.3	
	不動産景気指数	期中平均	101.9	102.5	103.9	103.2	104.5	106.3		106.5	0.0	0.0		
貿易 及び 外貨 準備	貿易収支	10億ドル	102.1	177.5	262.0	66.2	73.2	76.0		22.7	19.5	8.6		
	輸出(ドルベース)	前年比%	28.4	27.2	25.7	27.4	26.2	22.2		21.6	26.6	6.4		
	輸入(ドルベース)	前年比%	17.7	19.9	20.8	18.2	20.7	25.4		25.5	27.5	35.1		
	対米貿易収支	10億ドル	114.2	144.3	162.9	39.2	44.7	44.2		13.7	12.1	9.4		
	対日貿易収支	10億ドル	16.4	24.0	31.8	7.7	9.9	7.8		2.7	2.1	2.8		
	外貨準備	期末10億ドル	818.9	1066.3	1528.2	1332.6	1433.6	1528.2		1528.2	1589.8	1647.1		
生産	鉱工業付加価値額	前年比%	15.9	16.2	17.3	18.3	18.1	17.5		17.4		15.4		
	うち国有企業	前年比%	10.7	12.1	13.2	13.2	13.9	13.8		13.6		11.5		
	うち株式企業	前年比%	17.3	17.4	19.1	20.1	20.3	19.8		19.3		18.0		
	うち外商・港台澳企業	前年比%	15.8	16.7	16.1	16.9	16.7	16.3		17.2		13.3		
	在庫額	前年比%	21.0	18.5	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.		n.a.		22.5		
	うち鉱物	前年比%	42.4	37.6	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.		n.a.		26.0		
	うち素材	前年比%	27.1	19.6	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.		n.a.		23.9		
	うち機械	前年比%	16.7	15.6	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.		n.a.		22.8		
	発電量	前年比%	13.4	14.7	15.7	17.7	16.3	16.1		14.5	12.7	18.8		
所得 雇用	都市一人当たり所得(累計ベース)	前年比%	11.8	12.4	17.2	20.4	20.2	17.2						
	鉱工業雇用者数	前年比%	8.8	8.3	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.		n.a.		10.7		
	労働力市場求人倍率	期末	0.96	0.96	0.98	0.98	0.98	0.98						
	第二次産業/全産業求人比率	期末%	30.8	33.0	37.1	37.3	36.3	37.1						
物価	消費者物価指数	前年比%	1.8	1.5	4.8	3.6	6.1	6.6		6.5	7.1	8.7		
	うち食品	前年比%	2.9	2.3	12.4	8.9	16.8	17.5		16.7	18.2	23.3		
	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	0.1	1.2	2.0	2.1	1.7	1.9		1.9	2.1	2.1		
	生産者物価指数	前年比%	4.9	3.0	3.1	2.7	2.6	4.4		5.4	6.1	6.6		
金融	マネーサプライ(M2)	前年比%	17.6	16.9	16.7	17.1	18.5	16.7		16.7	18.9	17.5		
	インターバンク金利(翌日物)	期中平均%	1.43	1.86	2.13	2.10	2.30	2.23	2.12	1.89	1.98	2.29	2.09	
	株価指数(上海総合)	期末	1,161	2,675	5,262	3,821	5,552	5,262	3,473	5,262	4,383	4,349	3,473	
	為替レート(元/ドル)	期中平均	8.19	7.97	7.61	7.68	7.56	7.43	7.16	7.37	7.24	7.16	7.07	
	為替レート(円/元)	期中平均	13.4	14.6	15.5	15.7	15.6	15.2	14.7	15.3	14.9	14.9	14.2	
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	7.1	7.0	6.3	6.4	6.3	6.7					
		うち民間消費	前年比%	3.0	6.0	7.8	5.8	10.6	10.0					
		うち固定資本形成	前年比%	4.1	7.0	6.0	10.0	1.0	10.4					
		名目GDP成長率	前年比%	7.0	6.7	9.3	8.3	9.8	11.7					
	消費	小売販売数量指数	前年比%	6.1	5.6	10.4	8.0	12.6	13.6		12.1	7.2	13.2	
	不動産	不動産価格指数	前年比%	18.0	0.7	11.7	7.5	12.2	21.3		25.5	28.8	28.4	
		うち家屋160㎡超(香港島)	前年比%	21.5	5.4	21.8	18.4	14.5	57.6		74.8	54.9	57.1	
		不動産販売取引件数(香港域内)	前年比%	2.7	20.2	49.8	38.9	32.3	95.8		86.1	97.5	61.2	
	貿易	貿易収支	10億HKドル	81.4	138.8	183.2	54.3	36.6	52.0		27.4	7.5	15.8	
		輸出(香港ドルベース)	前年比%	11.4	9.3	9.3	11.9	8.2	8.2		8.2	15.8	7.6	
輸入(香港ドルベース)		前年比%	10.3	11.5	10.5	12.9	9.4	10.5		10.3	16.9	11.9		
物価	消費者物価指数	前年比%	0.9	2.0	2.0	1.3	1.6	3.5		3.8	3.3	6.3		
金融	マネーサプライ(M3)	期末%	5.2	15.5	20.6	20.5	22.3	20.6		20.6	16.9	13.7		
	ハンセン指数	期末%	14,876	19,965	27,813	21,773	27,142	27,813	22,849	27,813	23,456	24,332	22,849	

(出所) CEIC 他 (注) 直投実行額は05年から金融分野への投資も含むベース。

## 2. 中国の主要指標解説：懸念されるインフレ長期化～工業品価格も上昇基調

3月の全人代閉幕後の記者会見で温家宝首相は「当面の最大の課題はインフレ抑制にある」と言明した。実際、2月の消費者物価上昇率は大雪被害の影響で食品価格が前年比23.3%も急騰した煽りで同8.7%に加速した（図表1）。

図表1. 中国の消費者物価上昇率の推移

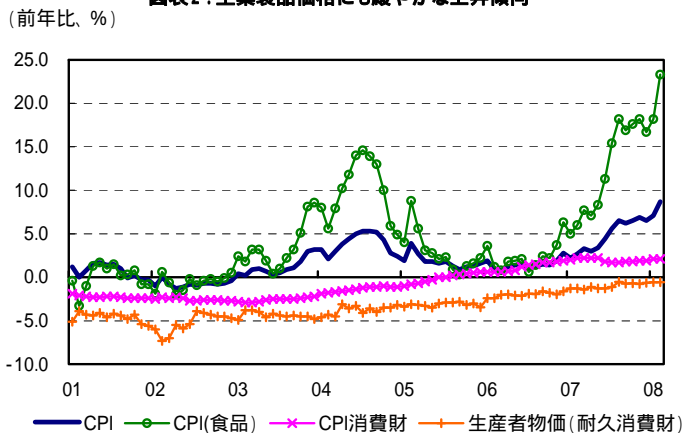


(出所)CEIC (注)2001年以前は旧系列。

昨年来のインフレ加速は家畜の疫病あるいは大雪など一時的な要因による食品価格の高騰でほぼ説明できる。しかし、その一方でこれまで供給過剰からデフレ傾向にあった工業品の価格が上昇基調に転じている点も見逃せないだろう（図表2）。例えば、買い替え時期に入っていると見られる洗濯機の価格はハイエンド商品ですでに昨年から前年比プラスで推移しているが普及品についても前年比マイナス幅が徐々に縮小している（図表3）。

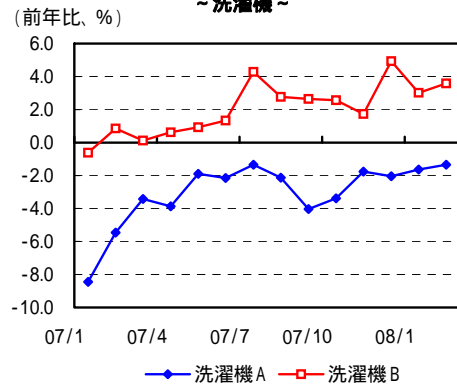
中国の足元の物価は振れの大きな食品・エネルギー等を除いたコア・ベースでは依然として安定しているとの指摘がある。しかし、工業品価格が上昇基調に転じていると見られる局面では今後インフレ期待が醸成されインフレがインフレを呼ぶ状況に陥ることが懸念される。金融政策はもとより価格の監視といった政府の積極的な介入によりインフレ期待を早期に押さえ込むことが目下の重要課題と言えるだろう。

図表2. 工業製品価格にも緩やかな上昇傾向



(出所)CEIC

図表3. ゆっくりと上昇する家電品価格  
～洗濯機～

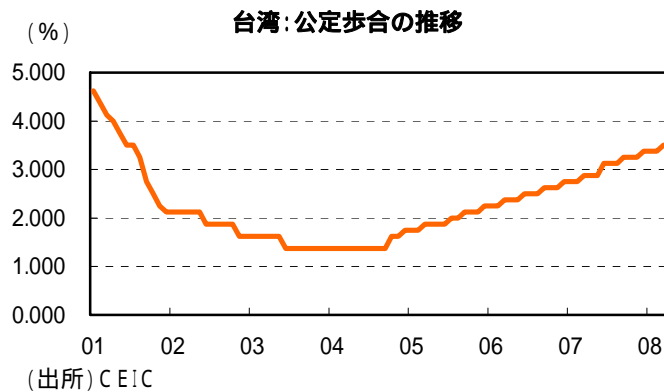


(注)36都市平均の小売価格。Aは噴流式、Bはドラム式洗濯機。

(出所)CEIC

### 3. 台湾経済の概況

- ・ 輸出の堅調を背景に緩やかな景気回復が続いている。2月の景気対策信号は輸出、生産、製造業売上が好調の一方で金融及び消費関連の指標が低迷した結果、1月に比べて2ポイント低下したものの依然として景気安定圏（27ポイント）水準で推移している。3月の輸出は、米国・日本向けなど一部地域向けは依然として低迷しているものの好調な近隣アジア諸国向けを中心に前年比22.8%増と堅調であった。また2月の輸出受注はアジア向けを中心に同18.1%増と好調に推移しており、輸出は当面底堅く推移しよう。
- ・ 3月の消費者物価上昇率は寒波の影響を受けた食品価格の高騰から前年比3.96%と再び加速した。こうした中で台湾中銀は3月27日、公定歩合を0.125%ポイント引き上げ3.5%とすることを決めた。同時に台湾ドル高圧力緩和のため4月1日から外貨預金の準備率を5.0%から0.125%に引下げることにも決めた。



### 台湾の主要経済指標

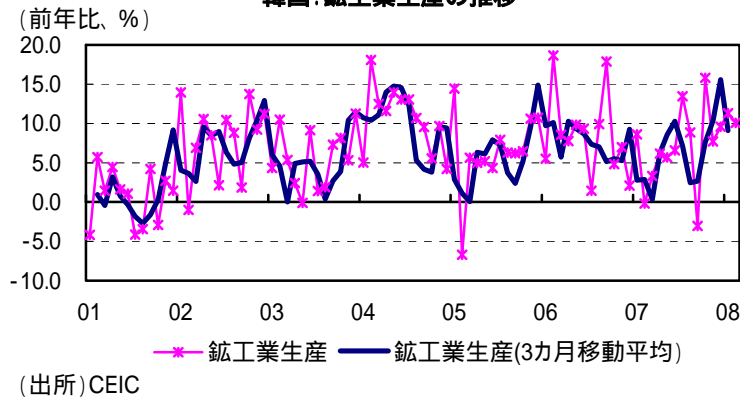
		2005年	2006年	2007年	07/2Q	3Q	4Q	08/1Q	07/12月	08/1月	08/2月	08/3月
GDP (yoy)	実質GDP	4.2	4.9	5.7	5.2	6.9	6.4					
	うち民間消費	3.0	1.8	2.6	2.6	3.6	2.2					
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	1.2	0.6	2.4	6.0	4.5	1.6					
生産	鉱工業生産(yoy)	4.6	5.0	8.1	6.1	11.3	13.0		11.0	11.9	15.2	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	15.8	21.3	27.4	4.3	6.9	10.0	3.4	2.2	1.5	1.7	0.2
	輸出(yoy)	8.8	12.9	10.1	6.6	9.6	15.3	17.6	19.7	11.8	18.5	22.8
	輸出受注(yoy)	19.2	16.7	15.5	12.8	18.5	17.6		17.6	16.9	18.1	
	輸入(yoy)	8.2	11.0	8.2	7.2	8.8	13.2	25.9	27.5	14.8	25.9	37.3
	経常収支(10億ドル)	16.0	24.7	31.7	5.3	6.2	11.6					
	外貨準備高(10億ドル)	253	266	270	266	263	270	287	270	273	278	287
雇用	失業率(季調値)	4.1	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9		3.9	4.0	4.0	
物価	消費者物価(yoy)	2.3	0.6	1.8	0.3	1.5	4.5	3.6	3.3	2.9	3.9	4.0
金融	M2(yoy)	6.6	5.3	0.9	4.6	3.3	0.9		0.9	2.1	1.4	
	株価指数(加権指数)	6,548	7,824	8,506	8,883	9,477	8,506	8,573	8,506	7,521	8,413	8,573
	短期金利(オーバーナイト)	1.30	1.50	1.97	2.12	2.01	2.04	2.08	2.05	2.09	2.08	2.08
	為替レート(NTドル/ドル)	32.2	32.5	32.8	33.1	32.9	32.4	31.5	32.4	32.4	31.6	30.6
	為替レート(円/NTドル)	3.42	3.58	3.59	3.65	3.58	3.49	3.34	3.47	3.33	3.39	3.29

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

#### 4. 韓国経済の概況

- ・ 輸出の堅調を背景に緩やかな景気拡大が続いている。3月の輸出は石油製品、携帯電話、一般機械を中心に前年比 19.1%増加した。輸入も原材料、資本財、消費財を中心に同 25.9%増加したが、輸出の伸びが加速する一方で輸入の伸びが鈍化したことから3月の貿易収支の赤字幅は6億7千万ドルと前月の12億ドルからさらに縮小した。
- ・ 鉱工業生産も輸出の堅調を背景に拡大が続いており、2月は前年比 10.1%拡大した。ただし、前月比ベースでは再びマイナスに転じており、先進国景気の減速が続く中で先行き生産減速の兆しが見える。
- ・ 3月の消費者物価上昇率は原油高などを背景に前年比 3.9%と4ヵ月連続して中銀のインフレ目標(2.5%~3.5%)を上回った。しかし、世界経済の先行きが不透明なことから、韓國中銀は4月も政策金利の5.0%据え置きを決めた。

韓国: 鉱工業生産の推移



韓国の主要経済指標

		2005年	2006年	2007年	07/2Q	3Q	4Q	08/1Q	07/12月	08/1月	08/2月	08/3月
GDP (yoy)	実質GDP	4.2	5.1	5.0	4.9	5.1	5.7					
	うち民間消費支出	3.6	4.5	4.5	4.4	4.8	4.6					
	うち固定資本形成	2.4	3.6	4.0	5.5	1.3	2.9					
	うち設備	5.7	7.8	7.6	11.0	2.3	6.5					
生産	鉱工業生産(yoy)	6.3	8.3	6.8	6.1	6.0	10.9		9.6	11.3	10.1	
消費	小売売上高(数量,yoy)	4.1	4.1	5.3	4.2	7.0	4.5		2.6	4.6	3.0	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	23.2	16.1	14.6	5.0	4.5	2.7	5.7	0.9	3.8	1.2	0.7
	輸出(yoy)	12.0	14.4	14.1	14.1	9.4	18.2	17.7	14.8	15.1	18.8	19.1
	輸入(yoy)	16.4	18.4	15.3	14.7	7.3	25.9	28.1	23.2	31.0	27.6	25.9
	経常収支(10億ドル)	15.0	5.4	6.0	0.0	4.4	3.2		0.8	2.8	2.4	
	外貨準備高(10億ドル)	210	239	262	251	257	262	264	262	262	262	264
雇用	失業率(季調値)	3.5	3.3	3.0	3.0	2.9	2.8		2.9	3.1	3.3	
物価	消費者物価(yoy)	2.8	2.2	2.5	2.4	2.3	3.4	3.8	3.6	3.9	3.6	3.9
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	7.0	11.4	11.5	10.9	11.0	11.5		11.5	12.5	13.4	
	株価指数(総合)	1,379	1,434	1,897	1,744	1,946	1,897	1,704	1,897	1,625	1,712	1,704
	為替レート(ウォン/ドル)	1,023	953	930	929	928	925	958	938	944	937	992
	為替レート(円/100ウォン)	10.8	12.2	12.7	13.1	12.6	12.2	10.8	12.1	11.3	11.2	10.1
	C/Dレート(3ヵ月物)	3.65	4.48	5.16	5.01	5.20	5.50	5.45	5.73	5.81	5.28	5.25

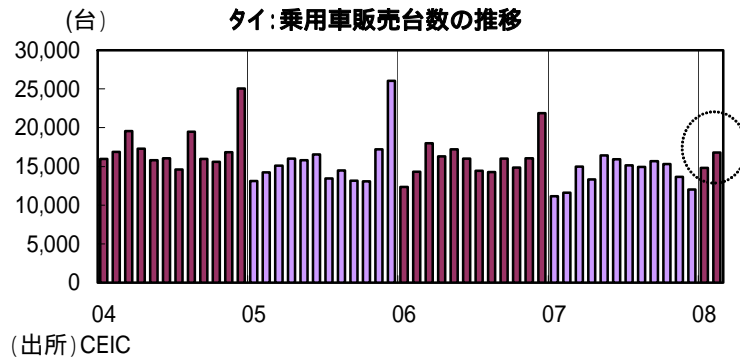
(出所)CEIC

(注)yoy = 前年比(%)

ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- 内外需とも堅調に推移しており、景気は緩やかな回復傾向にある。2月の輸出はASEAN・中国など近隣アジア諸国を中心に前年比16.4%増と堅調に拡大した。製造業生産も電子・電機など輸出型産業を中心に同14.7%増と底堅く推移している。一方、2月の総合消費指数は今年1月から税制優遇措置の対象となったエタノール混合燃料車の購入拡大を背景に1月に引続きやや高めの数字となった。最近まで企業・家計ともインフレ高進を背景にややマインド悪化傾向が見られたが、政府の景気刺激策やインフレ抑制策により内需は当面、底堅く推移しよう。
- タイ中銀は4月9日の金融政策委員会で景気が堅調に推移する一方、足元インフレが加速しているとして政策金利を3.25%に据置くことを決定した。



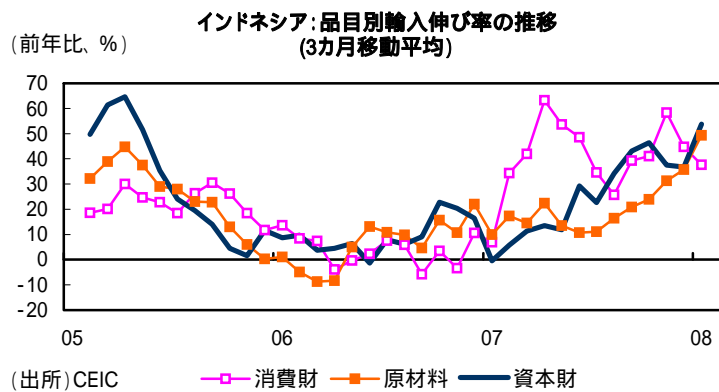
タイの主要経済指標

		2005年	2006年	2007年	07/2Q	3Q	4Q	08/1Q	07/12月	08/1月	08/2月	08/3月
GDP (yoy)	実質GDP	4.5	5.1	4.8	4.3	4.8	5.7					
	民間消費	4.5	3.2	1.4	0.9	1.8	1.6					
	総固定資本形成	10.6	3.8	1.4	0.2	2.6	4.0					
生産	製造業生産指数(yoy)	9.1	7.4	8.2	5.6	8.7	12.3		12.0	14.1	14.7	
消費	総合消費指数(yoy)	3.9	3.1	2.5	1.4	2.6	4.3		2.5	8.5	6.0	
投資	民間企業投資指数(yoy)	10.2	2.2	0.5	2.8	2.1	3.8		4.2	4.7	5.6	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	7.2	0.9	12.5	1.4	2.9	4.6		1.2	0.7	0.7	
	輸出(yoy)	15.0	16.9	17.5	18.0	11.6	23.4		19.0	33.3	16.4	
	輸入(yoy)	25.7	9.0	8.7	7.3	8.0	15.5		8.8	49.1	33.1	
国際収支	経常収支(10億ドル)	7.6	2.2	14.9	1.1	2.9	6.2		1.7	1.4	0.8	
	外貨準備高(10億ドル)	52.1	67.0	87.5	73.0	80.7	87.5		87.5	92.8	100.5	
雇用	失業率(季調前)	1.9	1.5	1.4	1.6	1.2	1.1		0.8	1.7	1.5	
物価	消費者物価(総合,yoy)	4.5	4.6	2.2	1.9	1.6	2.9	5.0	3.2	4.3	5.4	5.3
	消費者物価(コア,yoy)	1.6	2.3	1.0	0.9	0.7	1.1	1.5	1.2	1.2	1.5	1.7
金融	マネーサプライ(broad M,yoy)	6.3	6.2	1.2	3.5	2.7	1.2		1.2	1.2	1.9	
	商銀貸出残高(yoy)	8.4	5.6	6.8	3.1	4.9	6.8		6.8	9.2	14.4	
	不良債権比率(3M基準,%)	8.2	7.5	7.3	7.9	8.0	7.3					
	株価指数(SET)	714	680	858	777	846	858	817	858	784	846	817
	為替レート(円/US\$)	40.2	37.9	34.5	34.6	34.0	33.9	32.4	33.7	33.1	32.6	31.4
	為替レート(円/TH\$)	2.7	3.1	3.4	3.5	3.5	3.3	3.2	3.3	3.3	3.3	3.2
インバーン金利(3M)	3.28	5.20	3.97	3.88	3.55	3.68	3.30	3.85	3.35	3.30	3.25	

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%), 総合消費指数は10系列をベースにした指数に変更いたしました。

## 2. インドネシア経済の概況

- ・ 内需持ち直しから緩やかな景気回復が続いている。2月の自動車販売台数は2005年8月以降最高の4万7000台水準にまで増加しており、このペースで行けば年間53万台と過去最高を記録した2005年並みの販売台数を達成する可能性がある。また資本財輸入の大幅な伸びが続いており投資が堅調に推移していることが示唆されている。
- ・ 一方、2月の輸出は原油や動植物油脂類を中心に前年比28.5%増加したが、輸入の拡大テンポが算定基準の変更(保税区分を合算)要因もありはるかに速かったため、貿易黒字は9億ドルに縮小した。
- ・ 3月の消費者物価上昇率は食品を中心に全般的な価格の上昇から前年比8.2%に加速した。こうした状況を受けてインドネシア中銀は4月3日の総裁会でも政策金利の据え置き(8.0%)を決めた(据え置きは4ヵ月連続)。



### インドネシアの主要経済指標

		2005年	2006年	2007年	07/2Q	3Q	4Q	08/1Q	07/12月	08/1月	08/2月	08/3月
GDP (yoy)	実質GDP	5.7	5.5	6.3	6.4	6.5	6.3					
	民間消費支出	4.0	3.2	5.0	4.7	5.1	5.6					
	総固定資本形成	10.9	2.5	9.2	6.9	10.4	12.1					
生産	製造業生産(yoy)	1.3	1.6	5.5	6.9	4.0	4.0					
消費	小売売上(yoy)	15.9	4.0	10.4	9.7	11.6	8.8		2.0	1.7	12.0	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	28.0	39.7	39.6	10.2	9.1	10.4		4.1	1.6	0.9	
	輸出(yoy)	19.7	17.7	13.2	15.6	9.4	14.1		13.9	33.2	28.5	
	(除く石油ガス,yoy)	18.8	19.8	15.6	20.4	10.9	11.3		9.2	30.4	21.2	
	輸入(yoy)	24.0	5.8	22.0	16.1	19.6	34.7		37.6	79.5	106.5	
国際収支	経常収支(10億ドル)	0.3	10.8	11.0	2.5	2.2	3.4					
	外貨準備高(10億ドル)	34.7	42.6	56.9	50.9	52.9	56.9	59.0	56.9	56.0	57.1	59.0
物価	消費者物価(yoy)	10.5	13.1	6.4	6.0	6.5	6.7	7.6	6.6	7.4	7.4	8.2
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	16.4	14.9	18.9	15.8	17.1	18.9		18.9	16.5		
	株価指数(総合)	1,163	1,806	2,746	2,139	2,359	2,746	2,447	2,746	2,627	2,722	2,447
	為替レート(北アドル)	9,751	9,141	9,164	8,988	9,244	9,299	9,186	9,419	9,291	9,051	9,217
	為替レート(円/100北ア)	1.13	1.27	1.29	1.34	1.27	1.22	1.15	1.19	1.16	1.18	1.09
	中銀債金利(3ヵ月)	9.16	11.74	8.04	7.92	7.83	7.83	7.96	7.83	7.83	8.01	8.04

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、輸入は08年以降、保税区分を合算したベースに変更されており。伸び率はその分高上げされている。



### 3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

**【マレーシアの主要経済指標】**

		2005年	2006年	2007年	07/2Q	3Q	4Q	08/1Q	07/12月	08/1月	08/2月	08/3月
GDP (yoy)	実質GDP	5.0	5.9	6.3	5.8	6.6	7.3					
	民間消費	8.7	7.1	11.7	13.1	14.0	11.1					
	総固定資本形成	5.0	7.9	10.2	6.6	13.5	11.0					
生産	鉱工業生産(yoy)	4.0	4.7	2.2	2.0	2.1	4.5		5.8	7.0		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	26.4	29.5	29.2	6.6	8.1	8.5		2.8	3.0	2.8	
	輸出(yoy)	11.3	14.0	9.7	7.8	6.9	16.1		9.9	18.5	24.2	
	輸入(yoy)	9.0	14.4	12.1	8.2	8.0	19.7		16.5	15.0	20.3	
国際収支	経常収支(10億ドル)	20.0	25.5	28.9	23.6	29.5	26.2					
	外貨準備高(10億ドル)	70	83	119	119	113	119		119	127	138	
雇用	失業率(%)	3.6	3.3	3.2	3.4	3.1	3.0					
物価	消費者物価(yoy)	3.0	3.6	2.0	1.5	1.8	2.2		2.4	2.3	2.7	
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	15.6	17.1	9.5	13.0	12.2	9.5		9.5	11.1	10.5	
	貸出残高(yoy)	17.5	11.1	8.7	6.1	9.5	8.7		8.7	9.3	9.6	
	不良債権比率(3M基準,%)	5.8	4.8	3.2	4.1	3.5	3.2		3.2	3.1	3.1	
	株価指数(総合)	900	1,096	1,445	1,354	1,336	1,445	1,248	1,445	1,393	1,357	1,248
	為替レート(リキ/ドル)	3.79	3.67	3.44	3.43	3.47	3.36	3.23	3.33	3.27	3.22	3.19
	為替レート(円/リキ)	29.1	31.7	34.3	35.2	34.0	33.7	32.6	33.7	33.0	33.2	31.6
	インターバンク金利(3M,%)	2.90	3.70	3.62	3.60	3.61	3.61	3.61	3.61	3.61	3.61	3.61

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、鉱工業生産は05年以降、2000年 = 100基準。消費者物価は06年以降、2005年 = 100基準。

**【フィリピンの主要経済指標】**

		2005年	2006年	2007年	07/2Q	3Q	4Q	08/1Q	07/12月	08/1月	08/2月	08/3月
GDP (yoy)	実質GDP	4.9	5.4	7.3	7.5	7.4	7.4					
	民間消費支出	4.8	5.5	6.0	6.0	6.0	6.3					
	固定資本形成	6.6	1.4	9.5	10.1	9.2	10.3					
生産	鉱工業生産(yoy)	1.0	8.5	3.2	4.5	0.1	1.9		2.3	0.6		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	6.2	4.4	5.2	1.0	2.1	2.2		0.5	0.8		
	輸出(yoy)	4.0	14.9	6.0	4.2	1.6	9.6		21.2	6.1	10.7	
	輸入(yoy)	7.7	9.2	7.2	0.4	8.2	13.9		19.7	27.7		
国際収支	経常収支(10億ドル)	2.0	5.3	6.4	1.8	1.0	1.6		0.8			
	外貨準備高(10億ドル)	17.7	23.0	33.7	26.4	30.9	33.7	36.5	33.7	34.8	36.3	36.5
物価	消費者物価(yoy)	7.7	6.3	2.8	2.4	2.5	3.3	5.5	3.9	4.9	5.4	6.4
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	9.8	22.1	9.4	19.4	11.3	9.4		9.4	7.5	6.9	
	株価指数(総合)	2,096	2,983	3,622	3,661	3,573	3,622	2,985	3,622	3,266	3,130	2,985
	為替レート(ペソ/ドル)	55.0	51.3	45.9	46.7	45.8	42.7	41.0	41.4	40.7	40.4	41.9
	為替レート(円/ペソ)	2.00	2.27	2.56	2.59	2.57	2.65	2.57	2.72	2.65	2.65	2.41
	TB(3ヵ月,%)	6.10	5.29	3.38	2.98	3.68	3.72	5.43	n.a.	5.43	n.a.	n.a.

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

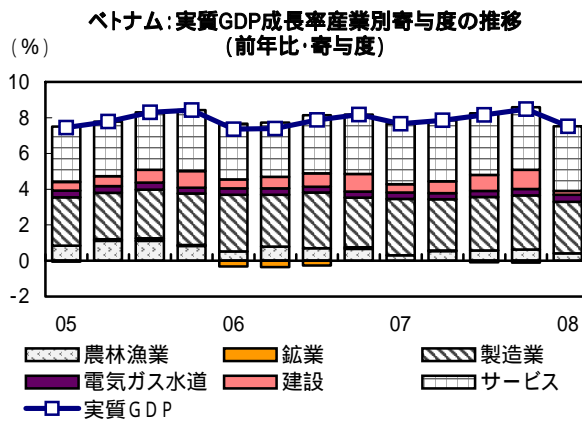
**【シンガポールの主要経済指標】**

		2005年	2006年	2007年	07/2Q	3Q	4Q	08/1Q	07/12月	08/1月	08/2月	08/3月
GDP (yoy)	実質GDP	7.3	8.2	7.7	9.1	9.5	5.4	7.2				
	民間消費	3.9	3.3	4.6	5.3	5.6	5.1					
	総固定資本形成	0.1	13.5	20.2	27.6	17.0	16.5					
生産	鉱工業生産(yoy)	9.5	11.9	5.8	8.7	10.9	0.2		1.5	12.8	10.0	
消費	小売売上指数(yoy)	8.6	7.2	3.4	7.5	1.4	2.2		2.6	7.5		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	29.6	33.1	36.1	8.2	11.0	6.5		2.0	2.8	2.3	
	輸出(yoy)	15.6	18.4	10.1	7.2	8.4	14.8		12.7	22.2	28.6	
	輸入(yoy)	15.2	19.3	10.2	6.7	4.7	20.8		12.1	35.2	30.7	
国際収支	経常収支(10億ドル)	22.3	29.8	39.2	15.0	18.3	10.9					
	外貨準備高(10億ドル)	116	136	163	144	152	163	178	163	168	172	178
雇用	失業率(季調値,%)	3.1	2.7	2.1	2.3	1.7	1.6					
物価	消費者物価(yoy)	0.5	1.0	2.1	1.0	2.7	4.1		4.4	6.6	6.5	
金融	マネーサプライ(M2,%)	6.2	19.4	13.4	23.6	20.0	13.4		13.4	12.6	12.1	
	株価指数(ストリート)	2,347	2,986	3,482	3,548	3,706	3,482	3,007	3,482	2,982	3,026	3,007
	為替レート(S\$/ドル)	1.665	1.589	1.507	1.525	1.517	1.454	1.409	1.449	1.432	1.411	1.386
	為替レート(円/S\$)	66.2	73.2	78.1	79.2	77.6	77.8	74.7	77.6	75.3	75.9	72.7
	インターバンク金利(3M,%)	2.29	3.46	2.72	2.50	2.65	2.48	1.52	2.38	1.69	1.56	1.31

(出所) CEIC 他 (注) yoy = 前年比(%)

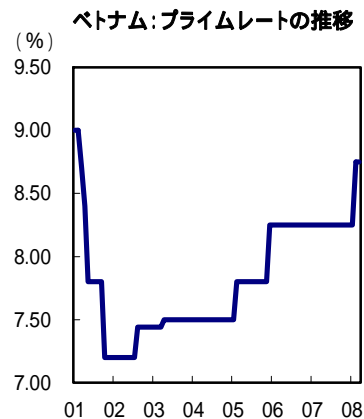
#### 4. ベトナム経済の概況

- ・ インフレ高騰とインフレ抑制のための金融引締め政策から景気にやや減速傾向が見られる。ベトナム統計総局によれば、2008年1~3月期の実質GDP成長率は前年比7.5%と昨年同期の同7.7%、昨年通年の同8.5%を下回った。製造業、サービス業が堅調な拡大を続けている一方で建設業の伸び率が大幅に鈍化した。建材価格の高騰やインフレ抑制のための利上げの影響が強く現れたと見られる。
- ・ 3月の消費者物価上昇率は、燃料価格や寒波による食糧生産不振の影響を受けた食品価格の高騰から、前年比19.4%と前月の上昇率(同15.7%)を大きく上回った。このためベトナム政府はインフレ抑制のため、金融引締め、一部品目の価格凍結に加え、今後は歳出削減にまで踏み込むことを明らかにしている。
- ・ こうした中でベトナム政府は今年の成長率目標を当初の8.5~9.0%から7%に1.5~2%ポイント下方修正した。



(注) 年初来累計の前年同期比。

(出所) CEIC



(出所) CEIC

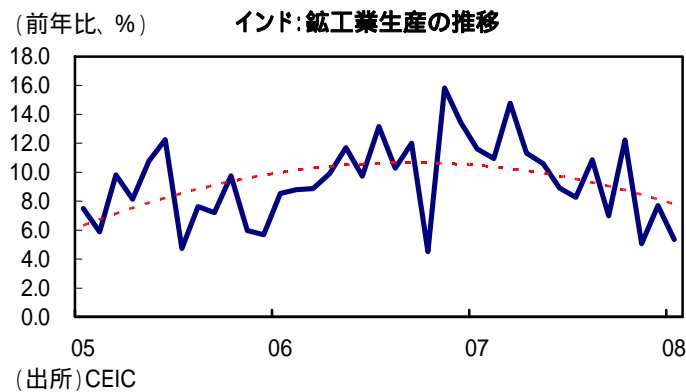
#### ベトナムの主要経済指標

		2005年	2006年	2007年	07/2Q	3Q	4Q	08/1Q	07/12月	08/1月	08/2月	08/3月
GDP (yoy)	実質GDP	8.4	8.2	8.5	7.8	8.2	8.5	7.5				
	農業生産	4.0	3.4	3.4	2.8	3.1	3.4	3.2				
ytd	鉱工業・建設生産	10.6	10.4	10.6	9.7	10.1	10.6	8.0				
生産	鉱工業生産(ytd,yoy)	17.6	18.0	14.6	13.8	14.5	16.7	25.2	16.7	7.4	17.4	25.2
消費ytd	小売売上(名目,yoy)	27.6	22.2	25.0	27.3	24.4	25.0	33.4	25.0	34.0	36.5	33.4
輸出入 ytd	貿易収支(100万ドル)	4648	4805	12443	4653	7871	12443	7366	12443	2287	5066	7366
	輸出(yoy)	24.0	22.9	22.2	19.7	18.3	22.2	23.3	22.2	30.6	24.6	23.3
	輸入(yoy)	17.0	20.4	37.0	31.3	30.2	37.0	66.1	37.0	66.2	71.7	66.1
国際収支	経常収支(100万ドル)	217	569									
	外貨準備高(100万ドル)	9,050	13,383									
物価	消費者物価(yoy)	8.3	7.4	8.3	7.4	8.6	10.7	16.4	12.6	14.1	15.7	19.4
金融	株価指数(VN index)	308	752	927	1,025	1,047	927	521	927	844	663	521
	為替レート(ドン/ドル)	15,832	15,970	16,063	16,064	16,133	16,040	15,997	15,995	15,970	15,930	16,090
	為替レート(円/100ドン)	0.71	0.74	0.74	0.77	0.73	0.72	0.66	0.72	0.68	0.68	0.63
	プライムレート(翌日物・期)	n.a.	n.a.	8.25	8.25	8.25	8.25	8.75	8.25	8.25	8.75	8.75

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、GDP、生産、小売、貿易統計の四半期、月次はいずれも年初来累計ベース(ytd)。

## 5. インド経済の概況

- ・ インフレ抑制のための高金利政策により内需が鈍化傾向にあり、景気は緩やかに減速している。2007年10～12月期の実質GDP成長率は需要項目では、投資、産業別では製造業の伸び率がそれぞれピークアウトしたことなどを背景に、前年比8.4%と前期（同8.9%）から減速した。また1月の鉱工業生産も資本財や耐久消費財生産の大幅な落ち込みから前年比5.3%に鈍化している。
- ・ 月間平均ベースの卸売物価指数は2月時点でも前年比4.6%にとどまっている。しかし、食品をはじめとする一次産品価格の高騰が続いており、週次ベースでは3月下旬には同7%台にまで加速している。このため政府が追加のインフレ抑制策の検討に入っているほか、インド準備銀行（中銀）も、4月末に予定されている08/09年度（08年4月～09年3月）の金融政策方針決定会合において一段の金融引締め強化を行なうと見られており、景気は当面、減速傾向で推移しよう。



### インドの主要経済指標

		2005年	2006年	2007年	07/2Q	3Q	4Q	08/1Q	07/12月	08/1月	08/2月	08/3月
GDP (yoy)	実質GDP	9.1	9.7	9.1	9.3	8.9	8.4					
	農業生産	5.0	4.1	3.9	3.8	3.7	3.2					
	実質GDP (年度)	9.4	9.6									
	農業生産 (年度)	5.9	3.8									
生産	鉱工業生産(yoy)	7.9	10.5	9.9	10.3	8.7	8.2	7.7	5.3			
輸出入	貿易収支(10億ドル)	43.9	53.1	69.8	21.4	18.0	19.6	5.4	9.4	4.2		
	輸出(yoy)	27.4	25.7	20.0	20.8	15.3	29.2	16.0	20.5	35.3		
	輸入(yoy)	44.0	24.2	23.5	38.2	18.9	24.6	18.1	63.6	30.5		
国際収支	経常収支(10億ドル)	10.3	9.5	11.8	5.9	4.7	5.4					
	外貨準備高(10億ドル)	131.0	170.2	266.6	206.1	240.0	266.6	266.6	283.6	291.3		
物価	卸売物価(yoy)	4.7	4.8	4.8	5.4	4.1	3.4	3.8	4.5	4.6		
	消費者物価(yoy)	4.0	6.3	6.4	6.3	6.7	5.5	5.5	5.5	5.5		
金融	マネーサプライ(M3,yoy)	17.8	19.3	22.8	21.6	21.3	22.8	22.8	23.8	22.9		
	株価指数(BSE Sensitive)	9,398	13,787	20,287	14,651	17,291	20,287	15,644	20,287	17,649	17,579	15,644
	為替レート(ルピー/ドル)	44.1	45.3	41.2	40.9	40.4	39.5	39.8	39.4	39.4	39.9	40.0
	為替レート(円/ルピー)	2.50	2.57	2.86	2.95	2.92	2.87	2.65	2.85	2.7	2.7	2.5
	T B3ヶ月	5.43	6.40	7.17	7.38	6.25	7.39	7.31	7.35	7.27	7.44	7.23

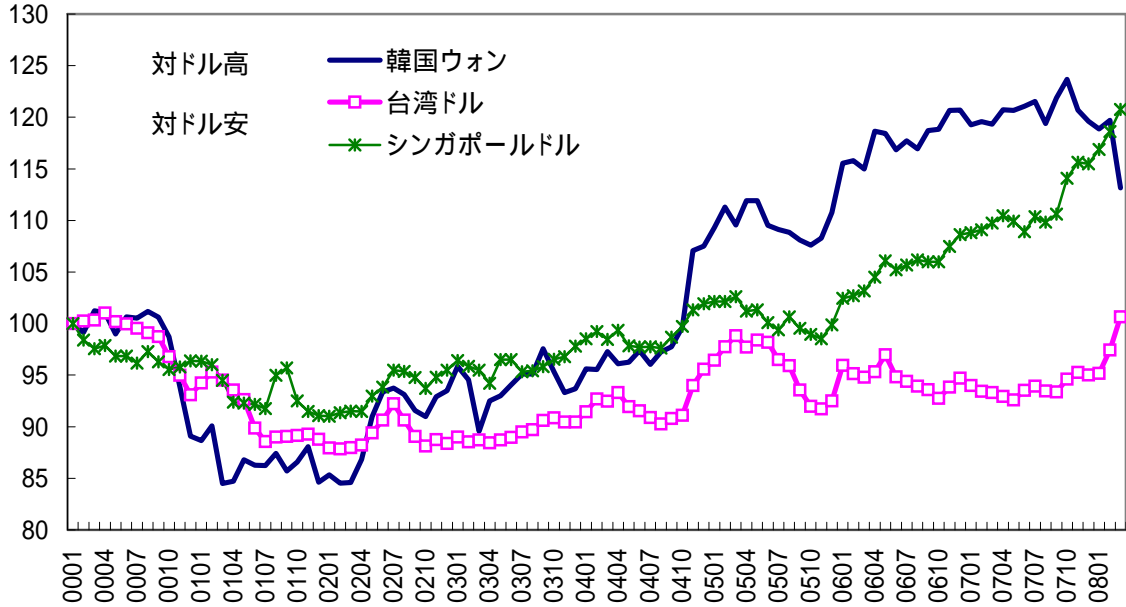
(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、年度は4月から翌年3月

アジア通貨・株価動向

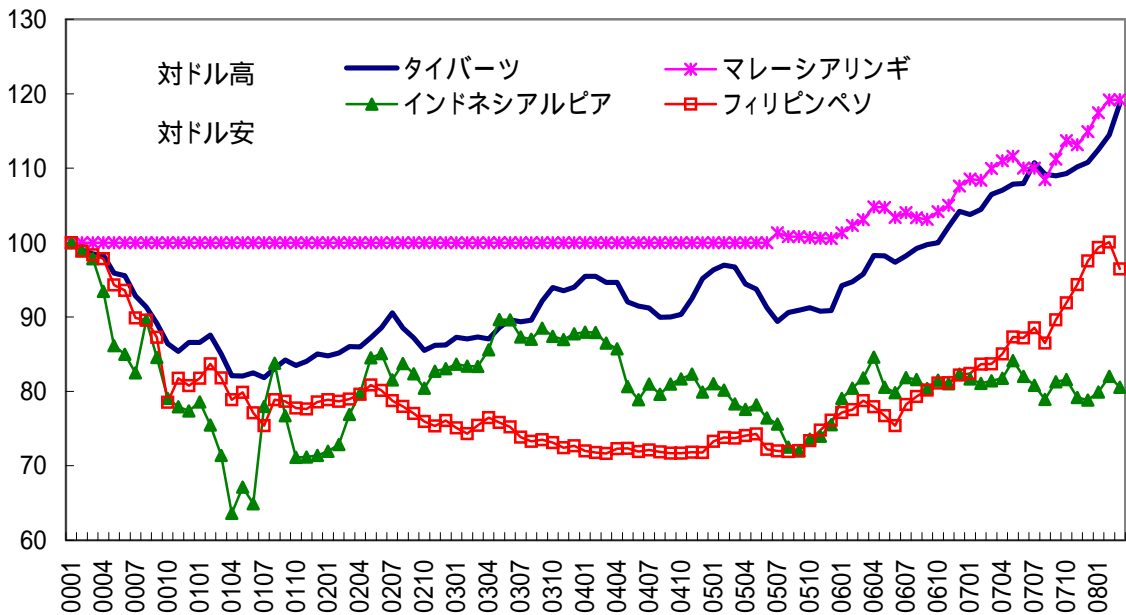
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)

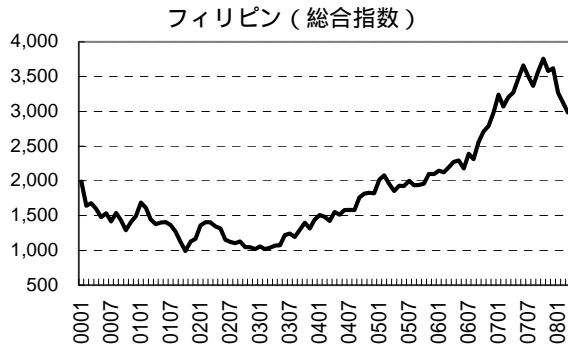
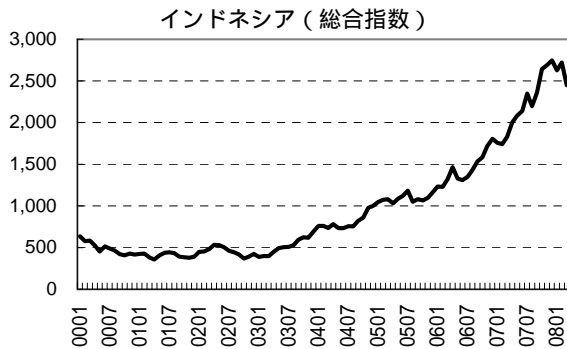
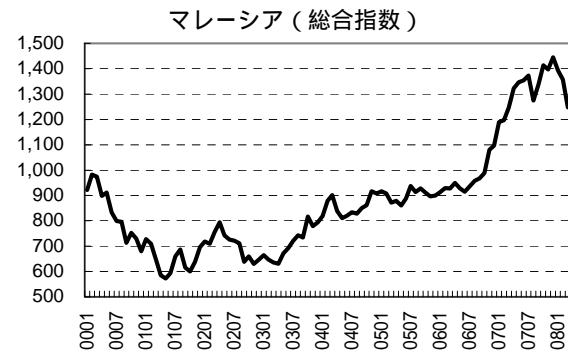
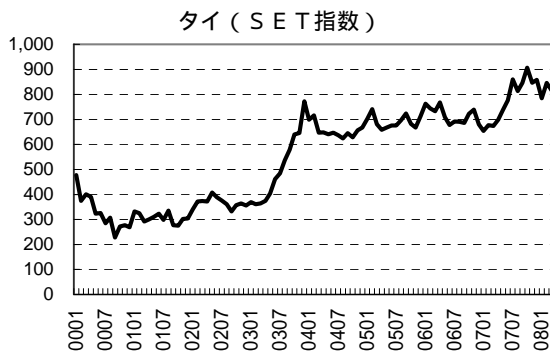
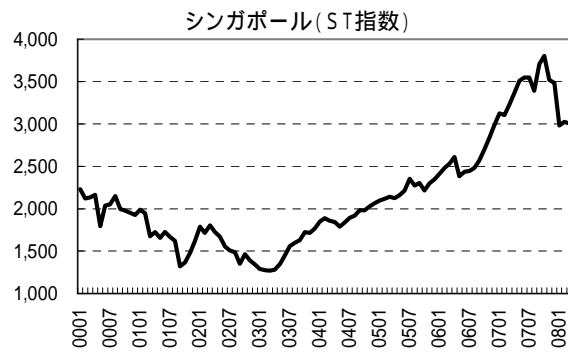
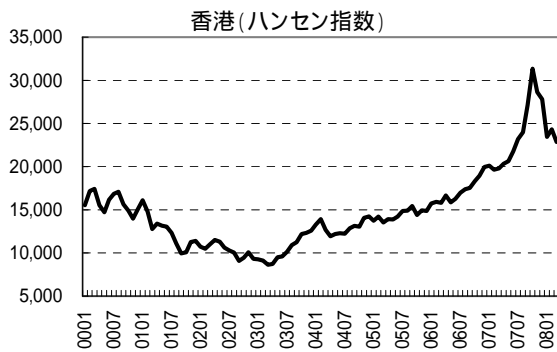
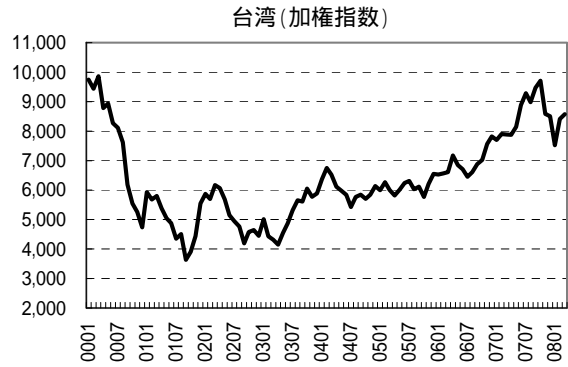
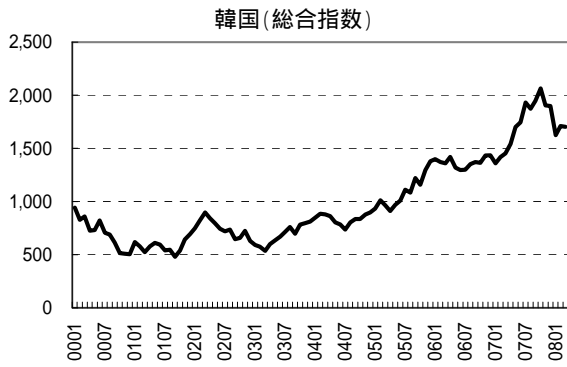


(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

本レポートに掲載された意見・予測等は資料作成時点の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。